

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	義務教育施設維持補修事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10		1	○
政策	13人間性豊かな子どもの育成環境をつくります	担当課室	教育総務課			
施策	132生きる力を育てる義務教育の充実	担当課室長	柴田康弘			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	事業量を拡大し、よりコスト縮減の意識を高める。	③平成26年度に取り組む改革・改善内容	トイレ改修事業を1校から3校へ拡充する。
②①に基づく取組み結果	中部小学校仮設校舎改修、第四中学校体育館床改修、第四中学校トイレ改修、第五中学校校舎外壁改修工事の実施完了。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	小中学校校舎・体育館	意図(対象をどうするのか)	学習環境の向上を図る
②事務事業の概要	老朽化した小中学校施設の維持保全、教育環境の向上、及び学校の安全を図るため、施設の改修を計画的に行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	施設の建設時期が一定期間に集中しており、それらが一斉に老朽化している。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	(1)小学校の校舎改修工事を実施し、施設環境の向上及び機能回復を図った。 (2)中学校の体育館床、トイレ、校舎外壁改修工事を実施し、施設環境の向上及び機能回復を図った。						
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i	校舎工事に関する生徒/全生徒	1.45	2.96	8.08	%	業務による取得
	ii	体育館工事に関する生徒/全生徒	4.16	45.9	5.02	%	業務による取得
	iii	その他工事に関する生徒/全生徒	5.48	11	0	%	業務による取得
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳		平成26年度予算		
事業費(千円)	57,001	146,816	金額(千円)	内容	225,674		
	国支出金(千円)		1,995	小学校工事設計			
	県支出金(千円)		13,629	小学校工事			
	市債その他(千円)	23,100	130,000	6,520	中学校工事設計	207,700	
	一般財源(千円)	33,901	16,816	124,672	中学校工事	17,974	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	施設の老朽化に伴い事業の進捗ペースを速める必要がある。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	施設の老朽化に伴い改修ペースを前倒しする必要がある。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	校舎外壁、トイレ改修等工事	平成25年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	計画された工事の実施完了	191,495	189,588	当初	191,495	146,816	H24からの繰越
				H24→25繰越			
③達成状況	完了			補正			現年分
④未完了・非着手の理由				流用・充当	-1,907		
				平成26年度への繰越額(単位:千円)			

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	義務教育施設耐震診断・改修事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	2・3	1	○
政策	13人間性豊かな子どもの育成環境をつくります	担当課室	教育総務課			
施策	132生きる力を育てる義務教育の充実	担当課室長	柴田康弘			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	事業量の拡大に伴い、よりコスト縮減の意識を高める必要がある。	③平成26年度に取り組む改革・改善内容	平成25年度事業完了
②①に基づく取り組み結果	夏季休業中に工事を集中的に行い、工期を短縮することによりコストの縮減が図られた。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	校舎・体育館	意図(対象をどうするのか)	耐震診断の上、補強が必要なものについて耐震改修工事を行う。
②事務事業の概要	児童生徒の安全と緊急避難場所として地域住民の安全を確保するため、小中学校施設の耐震診断を実施し、診断結果により、補強工事を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	文部科学省において平成28年度までの速やかな完了を目標としている。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	小中学校の耐震化を推進するため、小中学校の校舎7棟、体育館2棟の耐震改修工事を実施し、市内小中学校の耐震化を100%完了した。						
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i	耐震診断率	100	100	100	%	耐震診断棟数/対象数
	ii	改修設計率	77	100	100	%	改修設計棟数/対象数
	iii	改修工事率	55	77	100	%	改修工事棟数/対象数
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳			平成26年度予算	
事業費(千円)	873,342	556,650	金額(千円)	内容		0	
国支出金(千円)	410,726	294,131	381,465	小学校校舎・体育館耐震改修工事(7棟)			
県支出金(千円)			9,536	小学校校舎・体育館耐震改修工事監理委託(7棟)			
市債その他(千円)	421,200	262,100	161,637	中学校校舎耐震改修工事(2棟)			
一般財源(千円)	41,416	419	4,012	中学校校舎耐震改修工事監理委託(2棟)			

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	平成25年度事業完了。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	1終了
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	平成25年度事業完了。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	校舎・体育館9棟の耐震化	平成25年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	校舎・体育館9棟の耐震化の完了	596,484	596,484	当初	556,650	H24からの繰越	556,650
				H24⇒25繰越			
③達成状況	完了			補正		現年分	0
④未完了・非着手の理由		平成26年度への繰越額(単位:千円)					

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	義務教育施設空調設備設置事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	2・3	1	○
政策	13人間性豊かな子どもの育成環境をつくります	担当課室	教育総務課			
施策	132生きる力を育てる義務教育の充実	担当課室長	柴田康弘			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	H25新規	③平成26年度に取組む改革・改善内容	小学校9校に空調設備を設置する。
②①に基づく取組み結果			

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市内小中学校	意図(対象をどうするのか)	学習環境の向上を図る。
②事務事業の概要	夏季期間の学習環境を向上させる為、小中学校の普通教室、特別教室等に空調設備を設置する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	近年の猛暑に伴い空調設備の設置要望が多く、近隣市においても同様の事業が検討されている。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	小学校空調設備設置工事設計の完了。						
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i	設置工事实施設計			64%	%	実施校数/全校数
	ii	設置工事			0%	%	実施校数/全校数
	iii						
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳		平成26年度予算		
事業費(千円)	0	12,741	金額(千円)	内容	1,269,414		
国支出金(千円)			12,741	小学校空調設備設置工事設計委託	121,521		
県支出金(千円)							
市債その他(千円)					1,137,800		
一般財源(千円)		12,741			10,093		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	事業量が大規模な為小中学校を複数年度に分け実施する。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	2普通	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	2普通	
③上記評価の理由	平成25年度予算を繰越して平成26年度実施とする。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	小学校実施設計	平成25年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	設計完了	12,763	12,763	当初	12,741	H24からの繰越	0
				H24⇒25繰越			
③達成状況	完了			補正	12,763	現年分	12,741
④未完了・非着手の理由		平成26年度への繰越額(単位:千円)		1,259,334			

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	理科教育設備整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	2・3	1	○
政策	13人間性豊かな子どもの育成環境をつくります	担当課室	教育総務課			
施策	132生きる力を育てる義務教育の充実	担当課室長	柴田 康弘			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	平成24年度新規事業(全額繰越し、平成25年度実施)	③平成26年度に取り組む改革・改善内容	新学習指導要領の実施に伴う、重点整備品目の整備を完了
②①に基づく取組み結果			

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	小・中学校	意図(対象をどうするのか)	理科教育環境の向上を図るため、学校のニーズにあった理科設備の整備
②事務事業の概要	新学習指導要領の実施に伴い、新たに追加された項目の指導に必要な設備を整備するために、理科教育設備整備費補助金を活用し理科備品を購入する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	新学習指導要領の実施を推進するため、理科教育環境の更なる充実が求められており、理科備品の整備要望が学校から出ている。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	新学習指導要領の実施に伴い、重点的に整備する品目の優先整備を行った。						
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i	学校数		14	14	校	業務取得
	ii	整備率		57.5	59.2	%	業務取得
	iii						
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳			平成26年度予算	
事業費(千円)	0	8,400	金額(千円)	内容		0	
国支出金(千円)	0	4,099	5,400	小学校理科設備備品購入			
県支出金(千円)	0	0	3,000	小学校理科設備備品購入			
市債その他(千円)	0	0					
一般財源(千円)	0	4,301					

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	新学習指導要領が示される中で、実施にあたり良好な教育環境や設備の整備、充実が必要な状況である。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	1終了
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	2普通		
③上記評価の理由	新学習指導要領の実施に伴い、重点的に整備する品目の優先整備を完了した。引き続き、理科教育設備の充実を図っていく。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	重点的に整備すべき品目を優先的に整備	平成25年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	理科教育設備整備事業費補助金を活用し理科備品を購入	8,400	当初		8,400	H24からの繰越	8,400
			H24⇒25繰越	8,400		現年分	0
③達成状況	完了		補正				
④未完了・非着手の理由			流用・充当				
		平成26年度への繰越額(単位:千円)					

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	義務教育施設非構造部材耐震改修事業	会計	款	項	目	多額経費
政策	13人間性豊かな子どもの育成環境をつくります	一般	10	2・3	1	○
施策	132生きる力を育てる義務教育の充実	担当課室	教育総務課			
		担当課室長	柴田康弘			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容		③平成26年度に取組む改革・改善内容	中学校5校のガラス飛散防止フィルム貼付、照明器具の耐震改修工事
②①に基づく取組み結果			

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市内全小中学校校舎・体育館	意図(対象をどうするのか)	非構造部材の安全性を確保する
②事務事業の概要	児童生徒と緊急避難場所としての地域住民の安全を確保する為、吊り天井構造の体育館の非構造部材の耐震改修を行うと共に、ガラス飛散防止フィルム貼付及び吊下げ照明器具落下防止対策を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	文部科学省でも非構造部材の耐震化を積極的に進めており、特に天井落下防止対策は平成27年度完了を求められている。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	文部科学省では天井落下防止対策について平成27年度完了を目指しており、当市でも該当する小中学校各1校の体育館天井改修を行い、同対策を100%完了した。						
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i	天井落下防止対策			100	%	対策済校/対象校
	ii	ガラス飛散防止対策			0	%	対策済校/全校
	iii	照明器具耐震対策			0	%	対策済校/全校
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳			平成26年度予算	
事業費(千円)	0	40,310	金額(千円)	内容		123,138	
国支出金(千円)		13,570	1,460	小学校体育館天井改修工事設計委託			
県支出金(千円)			11,687	小学校体育館天井改修工事設計委託			
市債その他(千円)		26,700	703	中学校体育館天井改修工事設計委託			
一般財源(千円)		40	26,460	中学校体育館天井改修工事設計委託			

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	事業量が大規模な為小中学校を複数年度に分け実施する。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	2普通		
③上記評価の理由	体育館2棟の天井改修事業完了。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	対象となる体育館の天井落下防止対策を行う。	平成25年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	該当する2棟の改修を実施。	41,216	165,582	当初	41,216	40,310	H24からの繰越	40,310
				H24⇒25繰越	41,216			
③達成状況	完了			補正	81,922		現年分	
④未完了・非着手の理由				流用・充当	1,228			
							平成26年度への繰越額(単位:千円)	123,138

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	義務教育施設用地整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	2-3	1	○
政策	13人間性豊かな子どもの育成環境をつくります	担当課室	教育総務課			
施策	132生きる力を育てる義務教育の充実	担当課室長	柴田康弘			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容		③平成26年度に取組む改革・改善内容	鎌ヶ谷小学校、第三中学校用地の購入。
②①に基づく取組み結果			

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	小中学校施設	意図(対象をどうするのか)	施設運営に必要な用地を確保する。
②事務事業の概要	児童・生徒の活動環境向上の為、必要な用地を確保する(事業対象校:鎌ヶ谷小学校、第二中学校、第三中学校)。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	今後、平成26年度、鎌ヶ谷小学校、第三中学校用地を購入す。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	第二中学校用地購入の完了。						
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i	用地の購入状況			33	%	購入完了/予定学校数
	ii						
	iii						
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳		平成26年度予算		
事業費(千円)	0	203,804	金額(千円)	内容	158,590		
国支出金(千円)			2,346	小学校用地購入に伴う測量等委託	28,600		
県支出金(千円)			100	契約印紙税			
市債その他(千円)			984	中学校用地購入に伴う測量等委託	107,000		
一般財源(千円)			200,374	中学校用地購入費	22,990		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	平成26年度に引き続き鎌ヶ谷小学校、第三中学校用地の購入を進める。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	2普通	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	2普通	iv 効率性	2普通		
③上記評価の理由	第二中学校用地購入完了。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	第二中学校用地購入。	平成25年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	購入の完了。	201,459	203,931	当初	203,804	H24からの繰越	0
				補正		200,475	現年分
③達成状況	完了			流用・充当	3,456		
④未完了・非着手の理由		平成26年度への繰越額(単位:千円)				0	

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	学校給食センター建替事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	5	3	○
政策	13人間性豊かな子どもの育成環境をつくります	担当課室	教育総務課			
施策	133児童・生徒の健康と安全の確保	担当課室長	宮崎 実			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	・専門事項は分科会等により関係各課と共に綿密な協議を実施する。 ・事業者と市内の連携を図り、関係各課との役割分担による効率的な事務の実施	③平成26年度に取り組む改革・改善内容	平成25年度完了事業
②①に基づく取り組み結果	・運営準備のため、栄養士、給食担当課と事業者による協議会を定期・随時に開催した。 ・施設建設期間中は、週に一度の定例会議の参加や関係者協議に立会った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	2箇所の学校給食センター ・第一(昭和44年建設) ・第二(昭和53年建設)	意図(対象をどうするのか)	・施設設備をはじめ衛生面、安全性の改善と、学校給食の質の向上を財政効果を確保しつつ行う。
②事務事業の概要	安全で質の高い学校給食を今後も安定して提供していくため、老朽化し衛生基準等の問題を抱える二つの学校給食センターを、一つに統合して建替えを行い改善を図る。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	・学校給食の合理化、多様化、安定提供並びに衛生面、調理面の安全性向上による児童生徒の健康と安全の確保 ・民間との協働での学校給食の質の向上、充実による新たな公共サービスの享受の期待			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	PFI方式による事業契約に基づき施設建設工事の完了を受け、施設を購入し、平成26年4月の開所に向け維持管理及び運営業務事業者と協議を行い稼働体制を整えた。						
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i	新センターの進捗率(工事)	0	3	100	%	
	ii						
	iii						
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳		平成26年度予算		
事業費(千円)	29,703	1,558,650	金額(千円)	内容		0	
国支出金(千円)	0	377,075	23	消耗品費			
県支出金(千円)	0		420	PFIアドバイザー委託(債務負担行為)			
市債その他(千円)	15,000	1,178,000	2,791	用地借上料			
一般財源(千円)	14,703	3,575	1,555,339	学校給食センター施設購入費			

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	新たな用地で一つに統合した学校給食センターに建て替える。衛生管理基準の適合と学校給食の質の向上、充実を図り、安全安心な学校給食を継続して提供する。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	1終了
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	PFI方式の導入により民間のノウハウが活用された、給食の質の向上が期待される学校給食センター施設を確保した。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	・建設工事 ・PFIアドバイザー	平成25年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	新学校給食センター施設の購入	1,558,669	1,558,669	当初	1,558,669	H24からの繰越	1,555,339
				H24⇒25繰越	1,555,339		
③達成状況	完了			補正	-1,555,339	現年分	3,311
④未完了・非着手の理由				流用・充当			
		平成26年度への繰越額(単位:千円)		0			